

システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 24 年度	学位名	修士(工学)
専 攻	知能機能システム 専攻	著者氏名	矢澤 櫻子
指導教員氏名 星野准一			
論文題目 暗意実現モデルに基づく単旋律の構造解析システム			
論文概要 <p>本稿では暗意実現モデルに基づくメロディ解析システムに関して述べる.暗意実現モデルとは Eugene Narmour によって提唱されたメロディに関する音楽理論である. 暗意-実現の考え方をメロディに応用したもので, 音同士の関係をネットワークのように捉えることでメロディ構造を記述する. メロディを記述する際, 基本的な音の組の最小単位に含まれる音数を 3 音単位としている.</p> <p>また, この理論は人間があるメロディを聴いたときに意識的もしくは無意識的に後続のメロディを予測しているという仮定に基づいて構築されている.この理論に注目した理由は 2 点ある. 1 つ目はこの理論が人間のメロディを聴く際に後続メロディを予測しながら聴いているという仮定に基づいて構築されている点である.</p> <p>この理論に従ってメロディ解析を行い, 音同士の関係を明らかにできたら後続メロディの予測やメロディ生成に応用ができるのではないかと考えている. 2 つ目は音同士の関係を理論で定義された構造を用いて抽象化することができる点である. この理論では音同士の関係を基本類型というもので記述し, その基本類型同士の関係を連鎖構造と呼ばれるもので記述している. このように抽象化された構造から楽曲の個性を抽出できるのではないかと考えた</p> <p>この暗意実現モデルに基づく解析アルゴリズムを提案し,解析が行えるかどうかの実験を行い,提案アルゴリズムにより解析が行えることを確認した.また,解析結果をからメロディ中に発生しやすい構造があるかどうかを判定した.</p>			
審査日	平成 25 年 1 月 31 日		
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 准教授	博士(情報科学)	星野准一
副査	筑波大学 講師	博士(工学)	浜中雅俊
副査	筑波大学 教授	博士(工学)	宇津呂武仁